



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語一年

四月 第①週

〈野原はうたう〉

〈にじの見える橋〉





みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
印刷やダウンロードができます。



お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
 2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
 3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。



印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



ようこそ JPNC Class へ

JPNCClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業 (Zoom)、ビデオ (Youtube)を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。



印刷の仕方

3. 中1国語 4月第1週 〈スライド (PDF)〉をクリックしましょう。



JPN Class
Online school - 日本語で学ぼう

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

YouTube 授業

中学1年生 国語： <YouTube チャンネル 中1国語>

• 中1国語	9月第1週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
• 中1国語	9月第2週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
• 中1国語	3月第3週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
• 中1国語	3月第4週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
• 中1国語	4月第1週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>

雨はやんだ。
頭上の雲が切れて、わずかな青空がのぞく。
手さげかばんを平たくして頭にのせ、学生服のズボンのすそをたくし上げて、小走りに急いでいた少年は、しばらくの間、雨がやんだことに気づかなかった。考え事に心をうばわれていたのである。
黒くぬれたアスファルトの歩道を歩きながら、自分の歩みにしたがって飛び散る小さなしぶきを、少年は、どうでもいいような目で見めていた。
このところ、なにもかも、うまくいっていない。このあいだのテストの成績が悪かった。母親は、課外の活動をやめろという。親しかった友達とは、ちよつとしたことから仲たがいをした。好きなCDを買うこづかいが足りない。その他、具体的な形になっていないもやもやが、いくつもあった。雨は、自分の上にばかり降るような気がする。いっそぬれるなら、もっともっとずぶぬれになったら、かえってさばさばするだろうと思う。
国道の横断歩道へ踏み出そうとしたとたん、信号が点滅する。そんな

にじの見える橋

すぎ
杉みき子



1

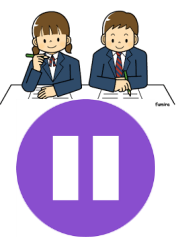
4.  がついているページを印刷しましょう。

②必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具（赤ペン、赤えんぴつも必要）

③気をつけること

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。
- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・必要があるときは、ビデオを止めた
り、もう一度ビデオを見たりしてく
ださい。

- ・授業で使っているスライドを、印刷した
い人は、①と同じように **Webページ**

<http://JPNClass.com>

からできます。

野原はうたう

工藤 直子くどう なおこ

みなさんへ

ときどきわたしは背伸びして「おうい。」と呼びかけてみます。すると空から綿雲が「なんだい？」と返事してくれるし、

「ここにいますよ。」と風がおでこを、なでてくれるみたい。海や山、野原の生き物たちも、

「いっしょに遊ぼう、」と、駆け寄ってくれる気がして、世界は仲間でいっぱい！心がにぎやかになります。

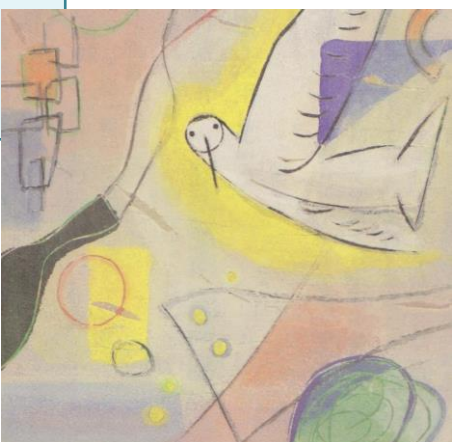
わたしは聞こえてくる仲間の声に耳をすまし、書き留めました。そして「野原」って、海にも空にも、宇宙にも、

いや、わたしたちの心の中にも広がっていると思いました。あっちこっちで、まぶしく光って、

みんな一生懸命「じぶんのうた」を、うたっている。どうか、みなさんも耳をすましてみてください。

そして、仲間たちといっしょに、うたってやってください。

くどう なおこ



・擬人法

物や生物をまるで人のように例える表現。

・すべてひらがなで書かれている。

うちゅう・いるか

いるか ゆうた



うちゅうがうまれて なんびやくおくねん
ちきゅうがうまれて なんじゅうおくねん
ながいながい じかんのなかで
ちきゅうに いのちが あふれてる

そんな でっかい うちゅうでおよぐ
ぽつちやり ちいさい ぼくだけで
ぴかっと ひかる いのちをだいて
いま ここ ぼくはいきている！

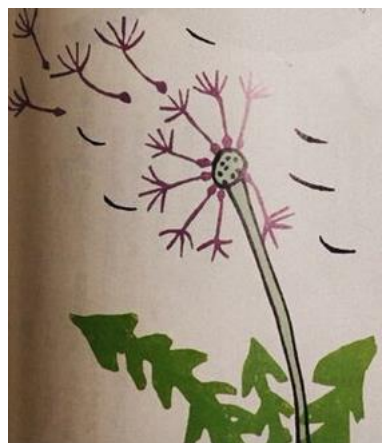
「うちゅうの ちゅうしん」になって
きらりと とぶ



あしたこそ

たんぽぽ はるか

ひかりを おでこに
くつつけて
はなひらく ひを
ゆめにみて
たんぽぽわたげが
まいあがります



とんでいこう どこまでも
あした
たくさんの「こんにちは」に
であうために

おれはかまきり

かまきりりゅうじ

おう なつだぜ

おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれの ころも かまも

どきどきするほど

ひかってる

おう あついぜ

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまをふりかざす すがた

わくわくするほど

きまつてるぜ



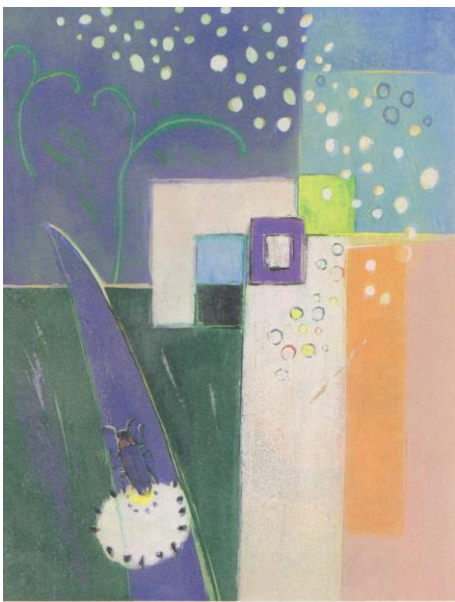
ひかる

ほたる まどか

わたしをみつけて！
と

ひかります

わたしの ぜんぶの
からだと ころも



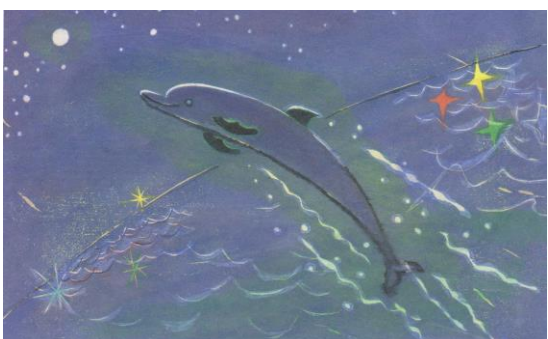
うちゅう・いるか

いるか ゆうた

うちゅうがうまれて なんびやくおくねん
ちきゅうがうまれて なんじゅうおくねん
ながいながい じかんのなかで
ちきゅうに いのちが あふれてる

そんな でっかい うちゅうでおよぐ
ぽつちやり ちいさい ぼくだけど
ぴかっと ひかる いのちをだいて
いま ここ ぼくはいきている！

「うちゅうの ちゅうしん」になって
きらりと とぶ



連

文章の段落にあたるものが「連（れん）」です。切れ目の目印は、一行空いているところです。

*では、この詩は何連に分かれていますか。

3連

あしたこそ

たんぽぽ

はるか

ひかりを おでこに

くつつけて

はなひらく ひを

ゆめにみて

たんぽぽわたげが

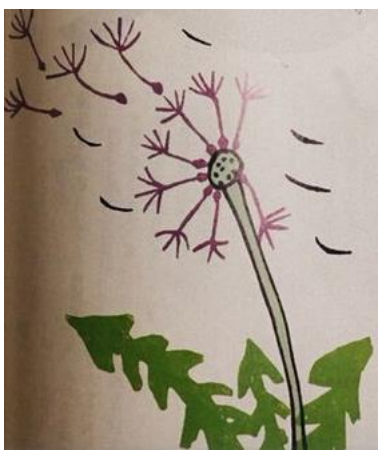
まいあがります

とんでいこう どこまでも

あした

たくさんの「こんにちは」に

であうために



とうち 倒置法

《語の順序を入れかえて意味を強める。》

- ① とんでいこう どこまでも 《「とんでいこう」を強調》
- ② あした

たくさんの「こんにちは」に
であうために

ひ
ゆ
比喩法 《あるものを、他のものにたとえて印象を強める》

- ① ひかりを おでこに
くつつけて 《たんぽぽが光を浴びている様子》

おれはかまきり

かまきりりゅうじ

おう なつだぜ

おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれの ころも かまも

どきどきするほど

ひかっている

おう あついぜ

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまをふりかざす すがた

わくわくするほど

きまつてるぜ



第1連と第2連が対応している

おう なつだぜ
おれは げんきだぜ

おう あついぜ
おれは がんばるぜ

どきどきするほど
ひかっている

わくわくするほど
きまつてるぜ

擬態語 ≪状態、動作、身ぶりをまねて表す言葉≫

「どきどき」「わくわく」

(1) 『おれはかまきり』の詩について説明したものと合うのはどれでしょう。

ア 前半も後半も、作者からカマキリへの呼びかけになっている。

イ 前半はかまきりの言葉、後半は作者の言葉が書かれている。

ウ 前半と後半の各行が、一行ずつ対たいになっている。

エ 前半と後半で、リズムが大きく変わっている。

(2) 最後の行に「きまつているぜ」とありますが、何が「きまつている」のですか。詩の中から一行で書き出しましょう。

()

()

(3) 『ひかる』の詩では、ほたるの光にどのようなメッセージがこめられているとうたわれていますか。詩の中から一行で書き出しましょう。

()

()

(4) 『おれはかまきり』と『ひかる』の二つの詩にうたわれていることとして合うのはどれでしょう。

ア 元気に、懸命に生きる生き物の姿。

イ 生き物の立場から見た人間への批判。

ウ 厳しい自然に立ち向かう生き物のたくましさ。

エ ちっぽけな生き物に対する作者の哀れみ。



答え付き

(1) 『おれはかまきり』の詩について説明したものと合うのはどれでしょう。

ア 前半も後半も、作者からカマキリへの呼びかけになっている。

イ 前半はかまきりの言葉、後半は作者の言葉が書かれている。

ウ 前半と後半の各行が、一行ずつ対たいになっている。

エ 前半と後半で、リズムが大きく変わっている。

ウ

(2) 最後の行に「きまつているぜ」とありますが、何が「きまつている」のですか。詩の中から一行で書き出しましょう。

(かまをふりかざす すがた)

(3) 『ひかる』の詩では、ほたるの光にどのようなメッセージがこめられているとうたわれていますか。詩の中から一行で書き出しましょう。

(わたしをみつけて！)

(4) 『おれはかまきり』と『ひかる』の二つの詩にうたわれていることとして合うのはどれでしょう。

ア 元気に、懸命に生きる生き物の姿。

イ 生き物の立場から見た人間への批判。

ウ 厳しい自然に立ち向かう生き物のたくましさ。

エ ちっぽけな生き物に対する作者の哀れみ。

ア



構成を考えよう。

詩の題名		登場する生き物	
うちゅう・いるか			
あしたこそ			
おれはかまきり			
ひかる			

主題を考えて書きましよう。

『うちゅう・いるか』

大きな宇宙、長い時の流れの中、今、ここに「」
ことを喜ぶいるか。

『あしたこそ』

「」 「」 日を夢見てまいあがるたんぽぽの綿毛。

『おれはかまきり』

暑い「」 「」、燃える太陽に負けず元気なかまきり。

『ひかる』

からだと「」 「」の全部の力を使って光るほたる。

← 生命の喜び、希望に満ち、一生懸命に生きる姿。



構成を考えよう。

答え付き

詩の題名	登場する生き物
うちゅう・いるか	いるか
あしたこそ	たんぽぽ
おれはかまきり	かまきり
ひかる	ほたる

主題を考えて書きましよう。

『うちゅう・いるか』

大きな宇宙、長い時の流れの中、今、ここに「**いき**ている」
ことを喜ぶいるか。

『あしたこそ』

「**は**な**ひ**らく」
「**日**を夢見てまいあがるたんぽぽの綿毛。

『おれはかまきり』

暑い「**な**つ」
燃える太陽に負けず元気なかまきり。

『ひかる』

からだ「**こ**ころ」
の全部の力を使って光るほたる。

←
生命の喜び、希望に満ち、一生懸命に生きる姿。



にじの見える橋

すぎ
杉みき子



雨がやんだ。

頭上の雲が切れて、わずかな青空がのぞく。

手提げかばんを平たくして頭にのせ、学生服のズボンのすそをたくし上げて、小走りに急いでいた少年は、しばらくの間、雨がやんだことに気づかなかつた。考え事に心をうばわれていたのである。

黒くぬれたアスファルトの歩道を歩きながら、自分の歩みにしたがって飛び散る小さなしぶきを、少年は、どうでもいいような目で眺めていた。

このところ、なにもかも、うまくいっていない。このあいだのテストの成績が悪かった。母親は、課外の活動をやめろという。親しかった友達とは、ちよつとしたことから仲たがいをした。好きなCDを買うこづかいが足りない。その他、具体的な形になっていないもやもやが、いくつもあつた。雨は、自分の上にばかり降るような気がする。いつそぬれるなら、もつともつとずぶぬれになったら、かえってさばさばするだろうと思う。

国道の横断歩道へ踏み出そうとしたとたん、信号が点滅する。そんなことにさえ気がいら立って、少年は小さく足踏みした。

さつきから後ろで、小さい子供たちの声がしている。自分にもあんなころがあつた、と半ばうわの空で思いながら、ぼんやり信号の変わるのを待っている少年の耳に、今までたわいもないおしゃべりだった子供たちの声が、急にはっきりした意味をもったさけびになってひびいてきた。

「にじが出てるよ。」
「にじだ、にじだ。」

25

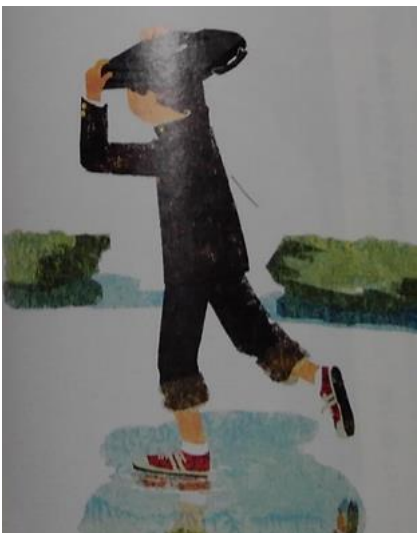
《新しい漢字》

《新出音訓》

なが
眺める

ふ
踏み出す

さ
手提げ





思わず振り返って、子供たちがまっすぐに指さす空を見上げると、ああ、確かににじだ。赤、黄、緑、太いクレヨンでひと息に引いたような線が、灰色の空を鮮やかにまたいでいる。上端はおぼろに空中に消え、下はビルと森のかげに隠れて、見えているのはほんの一部分だ。

少年は、自分でも思いがけない衝動に駆られて、辺りを見回した。
——高い所がないか、あれが全部見える所が。

あった、すぐ目の前に、国道を横切る歩道橋が。少年はためらわず、そちらへ駆けた。いつもは、階段の上り下りを面倒がつて、ついぞ利用したことのない歩道橋だったが。

階段を二段ずつ駆け上って、車の流れの真上に立つと、にじはまさに、森とビルのとぎれた所、国道の真正面から立ち上っている。手すりにつかまって、少し背伸びしながら身を乗り出すと、このはなやかな橋の始めから終わりまでを、ひと目で見わたすことができた。

さっきの子供たちが、少年の意図を察したらしく、後から続いて駆け上ってきて、思い思いの歓声をあげている。

少年は、大きく息を吸った。この前、にじを見たのはいつだったろう。この子たちくらい小さいころ——いや、もっとずっと前のような気がする。もしかしたら自分は今、生まれて初めてにじを見たのではないかと、少年は思った。

《新しい漢字》

《新出音訓》

振り返る

上端

衝動

面倒

歓声



目の下を、車の列が絶え間なく流れてゆく。かさをすぼめた人たちが、上も下も見ないで自分の道を急ぐ。だれも、頭上の出来事に気づかない。あるいは気がついて、なんとも思わないのか。だれ一人、立ち止まって、この大空のドラマに眺めいるものはない。少年はふと、初めて、自分のことを恵まれたものと感じた。

「おうい、何してんだあ。」

下から呼ばれて、身を乗り出すと、仲たがいをしたはずの友達が、かばんを振り回しながら、あきれたようにこちらを見上げている。

「おうい、にじが見えるぞう。上がってこいよう。」

少年も大声で呼び返す。友達は、少年の指さす方をひと目見て、さつき少年が感じたのと同じ衝動に駆られたように走りだした。歩道の端にけつまずいて、かばんを放り出し、危うく転びかける。

「早く早く。」

少年は笑いながら、体をずらして、にじを正面に見る場所を空け、友達が上ってくるのを足踏みしながら待った。



《新しい漢字》

めぐ
恵む

《新出音訓》

あや
危うい

言葉の意味や使い方を確かめましょう。

① 仲たがい

仲が悪くなること。

② 具体的

物の形、様子、事がらなどが、はっきりしている様。

*例文を書きましよう。

具体的に説明しなさい。

③ いっそ

かえって。むしろ。

*例文を書きましよう。

いかげんなことなら、いっそしない方がいい。

④ 見わたす

遠くまで眺める。

*例文を書きましよう。

海を見わたす。

⑤ 意図

物事をしようとするときの、もともになる考え。

⑥ 察する

おしはかる。思いやる。

*例文を書きましよう。

相手の気持ちを察する。

⑦ 思い思い

めいめいが自分の思う通りに。

*例文を書きましよう。

妹たちは思い思いに好きなことをしている。

⑧ 絶え間なく

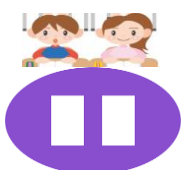
途切れないで。車が絶え間なく通る。

⑨ 危うい

危ない。危険。

*例文を書きましよう。

危ういところを助かる。



登場人物

- ・主人公の（少年）
- ・小さい（子供）たち
- ・仲たがいをしたはずの（友達）

場面ごとのあらすじをまとめましょう



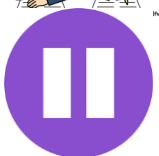
プリント 行く 行	場面	あらすじ
最初 ～ 一枚目 20行目	歩道を歩く少年	（ウ）
一枚目 21行目 ～	にじを見る少年	（イ） ← （エ）
三枚目 5行目		（エ）
三枚目 6行目 ～ 最後	友達を呼ぶ少年	（ア）

● あらすじ

ア 少年は、仲たがいをしたはずの友達を歩道の上に招く。
 イ 子供たちの声で、少年はにじが出ていることに気づいた。
 ウ 少年は、考え事に心をうばわれながら道を急いでいた。
 エ 少年は、歩道橋に上がって、にじの全体を見わたす。



- ① 少年はしぶきを**眺**めていた。
- ② 横断歩道へ**踏**み出した。
- ③ 思わず**振**り返った。
- ④ にじの上**端**が消えた。
- ⑤ 思いがけない**衝**動に駆られた。
- ⑥ 階段の上り下りは**面**倒だ。
- ⑦ 思い思いの**歓**声をあげる。
- ⑧ 自分は**恵**まれたものを感じた。
- ⑨ **手**提げかばんを頭にのせる。
- ⑩ **危**うく**転**びかける。

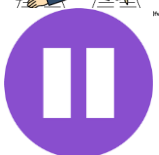


漢字の学習

読み方を書きましよう。

答え合わせをしましよう。

- ① 少年はしぶきを**眺**めていた。ながめていた
- ② 横断歩道へ**踏**み出した。ふみ
- ③ 思わず**振**り返った。ふり
- ④ にじの上**端**が消えた。じょうたん
- ⑤ 思いがけない**衝**動に駆られた。しようどう
- ⑥ 階段の上り下りは**面**倒だ。めんどう
- ⑦ 思い思いの**歓**声をあげる。かんせい
- ⑧ 自分は**恵**まれたものに感じた。めぐまれた
- ⑨ **手**提げかばんを頭にのせる。てさげ
- ⑩ **危**うく**転**びかける。あやうく



宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

新しい漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「野原はうたう」「にじの見える橋」を読みましょう。

3. 「にじの見える橋」の言葉の意味や使い方や復習 しましょう。

4. 「にじの見える橋」のあらすじをノートに書いた ものを参考にし確認をしましょう。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語
一年

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月		
		<p>発見したことを伝えよう スピーチの構成を考え、メモをもとにスピーチをしよう。</p>	<p>野原はうたう 好きな詩を、登場する生き物の気持ちになつて朗読しよう。</p>	<p>一年間の学習を通して 先生の話を聞き、学習を進めよう。</p>	<p>話す／聞く</p>
<p>文章の推敲と原稿用紙の使い方 推敲のポイントと原稿用紙のうえでの推敲の仕方をしよう。 原稿用紙の決まりを確かめよう。</p>	<p>情報を文章にまとめよう 自分の身の回りのことについて、情報を集め、文章にまとめよう。</p>	<p>発見したことを伝えよう スピーチの構成を考え、スピーチメモを書こう。</p>	<p>野原はうたう 自分の好きな生き物を選んで、詩を作ろう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記事に対する自分の意見や感想を書こう。</p>	<p>書く</p>
<p>光と風からもらった贈り物 筆者が「高原」のどんなところに、言葉の豊かさを感じているかをとらえよう。</p>	<p>クジラたちの声 クジラの情報伝達に関する二つの問いをおさえ、音の役割、海中での情報伝達に音が最適である理由をつかもう。</p>	<p>ちよつと立ち止まつて 各図の説明を通して、ものの見方について、筆者が述べていることをとらえよう。</p>	<p>野原はうたう 作者が生き物の姿にどんな思いを感じているかを、読み取るう。 にじの見える橋 少年の行動や心情に着目し、にじを見る前とあとの気持ちの変化をとらえよう。</p>	<p>新聞記事 新聞記事を読もう。</p>	<p>読む</p>
<p>混同しやすい漢字 形が似ていたり音が同じであったりする漢字を知り、間違えて使わないように気をつけよう。</p>	<p>言葉の単位 文節や単語に区切る方法を知ろう。</p>	<p>漢字の組み立てと部首 漢字の部分のよび名と表すものを覚えよう。</p>	<p>話し言葉と書き言葉 話し言葉と書き言葉の違いをおさえよう。</p>		<p>言葉</p>

12月 (冬休み=授業は3回)	11月	10月	9月	8月	
	<p>いろは歌 仮名のみの原文を、 古文の調子にのって 読み、聞いてもらおう。</p>				話す／聞く
<p>未来をひらく微生物 環境問題について課 題を見つけ、レポー トにまとめよう。</p>		<p>大人になれなかった 弟たちに・・・ 心に残ったこと、自 分の生活と比べてど んなことを考えたの か、感想文を書こう。</p>	<p>手紙を書こう 手紙の形式を知り、 目的や相手を考え、 手紙が書けるようにな ろう。</p>	<p>さつき 読み取った内容を、 自分自身の体験と重 ねて感想を書こう。 読書記録 読んだ本の読書記録 を書いて残そう。</p>	書く
<p>未来をひらく微生物 自然の仕組みの中で、 微生物の働きが、環 境問題の解決どのよ うに利用されている のか読み取ろう。</p>	<p>いろは歌 古文の言葉の響きや 調子に読み慣れよう。 蓬萊の玉の枝 ほらいらい 古典に対する興味や 関心をもって読もう。 今に生きる言葉 漢文独特の言い回し に慣れよう。「矛盾」 がどんなエピソード からどんな意味に使わ れるようになったのか 確かめよう。</p>	<p>大人になれなかった 弟たちに・・・ 表現に着目し、登場 人物の心情や作者の 思いを読み取ろう。</p>	<p>麦わら帽子 麦わら帽子やカモメ に対するマキの気持 ちと、その移り変わ りを読み取ろう。</p>	<p>さつき 助けを呼びに走る場 面や、助かった正作 を見上げる場面の、 惇の胸中を表す言葉 に注目して読もう。</p>	読む
<p>文の組み立て 文の成分のそれぞれ の働きや、文節どう しの関係を理解しよ う。</p>	<p>古典の言葉 文語と口語の違いを 考えよう。 漢字の音訓 音と訓それぞれの読 み方と、意味を考え よう。</p>	<p>漢字四字の熟語 漢字四字の意味をお さえよう。</p>	<p>漢語・和語・外来語 漢語・和語・外来語 の分類ができるよう になろう。</p>		言葉

	3月	2月	1月 (冬休み=授業は3回)	
		心に残る思いで読み手の興味を引くように、発表しよう。		話す／聞く
	言葉調べよう 言葉についての課題を調べ、資料にまとめる。	心に残る思いで、今までの経験で、自分が成長したと思えることや、変わったと思うことを思い出して、文章にまとめよう。	江戸からのメッセージ 江戸の知恵を今の時代に生かせることは何か考え、それをまとめよう。	書く
	胸の底の人と言葉たち 人や言葉との出会いを読み取り、筆者がわたしたちに願うことは何かを考えよう。	少年の日の思い出登場人物の心情の移り変わりをとらえ、生き方を考えよう。	江戸からのメッセージ リサイクルを徹底した江戸っ子の生活と、そこから導かれた筆者の主張をつかもう。	読む
〈一年生の漢字〉 一年生で習った漢字の復習をしよう。	漢字の成り立ち 漢字の成り立ちをおさえ、成り立ちで意味や読みを類推できることを知ろう。	指示する語句と接続する語句 指示する語句と接続する語句の種類や用法を理解しよう。	辞典を活用しよう 国語辞典、漢和辞典の使い方を知り、実際に様々な言葉を調べよう。	言葉



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語一年

四月 第1週

「いいね」

「チャンネル登録」

よろしくね！

また来週。

